

特徴は？

■地域の森林の荒廃を防ぐことを 目指しています

人工林は積極的に手を入れるほどよい状況が生まれます。そのための最も効果的な方法は、積極的に木材を利用することだといわれています。その証拠に、最近あまり使われなくなったため、「荒廃」が心配されるようになりました。

■NPOが森林を認証します

市民（消費者）の立場に立って、客観的な基準の下で、森林から出された木材が他の一般材と混ざらないような仕組みを創っています。

■環境に配慮された森林から出た 木材であることを証明します

スギやヒノキなどの人工林は、計画的な間伐など、適切に管理することで活動力を高め、CO2の吸収を効率的に行います。また、水資源涵養、表土流出防止、生物多様性など様々な側面で環境への効果も生み出します。

■地域の森林の木材です

奥三河は昔から木材の産地として知られ、全国各地に供給されてきました。
ところが最近、様々な理由からあまり使われなくなり、大切な資源が眠っています。
せっかくの良材です。地元で積極的に使いましょう。
木材は育った地域で使うのが一番だと昔からいわれてきました。



地域の山が
荒れている

地域の山の
木材を使用

地域の山の
環境が改善

身近な
循環型社会の
進展